

# 桃咲く里

佐久市立平根小学校

学校だより5月号

令和8年5月25日

文責：教頭 鶴田 孝一

## 「園の先生が見に来てくれたよ！」

11日(月)には、第1回幼保小連絡会が行われ、卒園した園の先生方にご来校いただき、1年生の授業の様子を参観していただきました。

園の先生方からは、「入学してまだ1か月ほどですが、すっかり小学生らしくなったと感じました」「しっかり席に座って話を聞いたり、自分の考えを発表したりする姿に成長を感じました」「新しい友達ができたと嬉しそうに話してくれて安心しました」「ひらがなを書く時も集中して取り組んでいて感心しました」「授業では堂々と発表していて、大きな成長を感じました」「気持ちの面でも成長している様子が伝わってきました」など、温かい言葉をたくさんいただきました。



子どもたちも、できるようになったことや成長した姿を見てもらおうと、一生懸命頑張っていたことと思います。久しぶりに会った園の先生方に声を掛けてもらい、嬉しそうな表情を見せる姿が印象的でした。自分の頑張りや成長を認めてもらうことが、子どもたちにとって大きな励みになったようです。

## 「全力全進！～満開の笑顔を送らせよう～」 運動会に向けて

日差しに夏の気配が感じられる頃となりました。子どもたちは日々、学習や運動に意欲的に取り組み、元気いっぱい学校生活を送っています。

さて、今月はいよいよ運動会を迎えます。これまで全校練習や異学年での表現運動の練習を重ね、準備を進めてきました。今年の運動会スローガンは「全力全進！～満開の笑顔を送らせよう～」です。高学年児童を中心に、自分たちで考え主体的に運営すること、そして一人一人が主役として輝ける運動会を目指して取り組んできました。

児童会役員が中心となって開閉会式を進行したり、各学年が工夫を凝らした種目名を取り入れたりするなど、例年とはひと味違った運動会となっています。子どもたちが仲間と力を合わせ、競技や演技に一生懸命取り組む姿をご覧いただき、温かいご声援をいただければ幸いです。

## 保護者・コミュニティースクールの皆様への感謝

16日(土)にはPTA作業が行われ、校舎内外や通学路の環境整備にご協力いただきました。校庭では、トラックの整備や砂入れをしていただき、運動会に向けた準備が整いました。また、プール清掃では高圧洗浄機をご持参いただき、汚れやヘドロを丁寧に除去していただいたことで、本年度も安全に水泳学習を実施できる環境が整いました。

さらに、校庭へ続く外昇降口の足洗い場や1階トイレなど、普段は子どもたちだけでは十分に手が届かない場所まで、きれいに清掃していただきました。通学路では、歩道脇に伸びた草をビバーで刈っていただき、安全に通行できる環境づくりにご尽力いただきました。学校周辺の草取りも行っており、花壇の花々がより美しく見えるようになりました。

皆様のご協力により、子どもたちが安心して学べる環境が整えられています。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



## 桜プロジェクトについて

6年生は、総合的な学習の時間に「未来につながる桜プロジェクト」に取り組んでいます。この活動は、地域の皆さまに長年親しまれてきた学校中庭の樹齢130年を超える桜の木が倒れてしまったことを受け、その桜材を活用した製品づくりや学校看板の制作を通して、桜の思いを地域へ受け継いでいこうとするものです。

4月24日には、ソニー銀行関係者8名、佐久市教育委員会から2名の皆さまにご来校いただき、金融教育の授業を行いました。授業の前半では、「つかう」「ためる」「ふやす」「あげる」といったお金の役割について学ぶとともに、「誰かのためにお金を役立てること」について考えました。後半では、ソニー銀行の皆さまからクラウドファンディングについて教えていただき、桜の木に対する思いや地域への願いをテーマにグループワークを行いました。児童からは、「桜の木は学校のシンボルだった」「倒れたままでは地域の方や卒業生も寂しい気持ちになると思う」など、桜を大切に思う声が多く聞かれました。

6年生は、桜の木を生かした取組を進めるための資金について、2026年6月1日（月）から、寄付型クラウドファンディング「GIVING for FUTURE」の特設サイトを通じて、広く支援をお願いしていく予定です。

